

1. 英語科 カリキュラムの特徴

本学のカリキュラムの科目群は、英語科目、教養科目、基礎科目、専門科目で構成されています。

「英語科に入ったのだから、英語の勉強だけをするものだと思っていた」等の声を新入生から聞くことがあります。それでは、「英語を学ぶ」とはどういうことなのでしょう。

言葉というものは、相手に何かを伝える、あるいは相手の言いたいことを理解するために使われます。

「英語を学ぶ」と言っても、学んだ英語で相手に「何を伝えるのか」「何を理解しようとするのか」という中身がなくては、本当の意味での「英語を使える」人間にはなれません。しかも、母語とは異なる言語を使う相手に、何かを伝えて理解してもらうこと、逆に相手のいうことを理解することは、とても大変なことなのです。単に文法や語彙が違うから、という問題ではありません。「異文化コミュニケーション」という言葉が示すように、異なる言語の使い手、つまり異なる文化の人々とコミュニケーションを行うためには、相手の文化や社会についても知る必要があります。

入学後、まず教養科目を履修することで視野を広げ、体系だった学問に触れながら論理的なもののとらえ方を身につけていきます。皆さんの多くにとっての母語は日本語でしょう。まず日本語でものを論理的に考え、説明する力を養うことが、英語を使いこなすためにも不可欠なのです。そのため、日本語で必要な情報を集め、論理的に整理して口頭で発表したり小論文を書いたりするためのアカデミック・スキルズを身につける「基礎ゼミナール」を2010年度より必修科目として新たに開講しました。同じく1年次の必修科目である「人間学」では、本学の教育理念であるWomen for Others, with Others（他者のために、他者とともに）を実現するための学びがあります。

こうしてしっかりと基礎となる土台を作りながら、英語を学びます。英語の授業の時間が大切なことは言うまでもありませんし、英語だけでなくすべての授業は無遅刻・無欠席が当たり前です。しかし、英語力は授業だけでは決して身に付きません。各授業の予習・復習、課題などをしっかりこなす自宅学習が必須です。さらに学内ではパソコンを使ったe-learningシステムやEnglish Café Luncheon等、授業外で英語を学ぶさまざまな機会が提供されています。また、学生の皆さんはTOEICの目標値を決めてその達成に努め、教員もそれを支援していきます。英語力を身に付けるためには、こつこつと積み重ねる毎日の努力と、英語を使い英語により多く触れる自主性が鍵となります。

また、本学では英語力を身につける授業は英語科目に限定されているわけではありません。いくつかの専門科目やゼミナールは英語で行われています。それらの授業では、講義を英語で聞き、英語のテキストや資料を読み、英語で議論して、英語でレポートを書く、というように実際に英語を使って専門的なことを学んでいきます。泳ぎ方をいくら言葉で教わっても、実際に水に入ってみなければ泳げるようにはならないのと同様に、英語についていくら学んでいても、自分が持っている知識をフル活用しながら実際に英語を使ってみなければ、英語が使いこなせるようにはなりません。英語で授業を行う科目が専門科目として提供されている理由はここにあります。

専門科目は、「異文化理解」「英米文学研究」「言語研究」「言語教育」というカテゴリーに括られており、それぞれの分野の入門的な「概論」と「各論」にあたる個々の講義が提供されています。全体像をまず把握してから個別のテーマを扱う「各論」に入るほうがしっかり理解できるので、「概論」は第二外国語などととも、専門科目のなかの基礎科目として位置付けられています。あるカテゴリーに興味がある場合は、そのカテゴリーの科目を集中して履修して卒業時に「コース修了証」を得ることもできますし、カテゴリーにこだわらずに自分の関心にしたがっているいろいろな分野の科目を履修することもできます。

こうした学内での学びを、児童英語教育ボランティアや日本語教育支援ボランティアなどの地域活動に活かし、学外でのこうしたボランティア体験をさらに学びにフィードバックする活動が活発に行われています。こうした奉仕の体験を学びに活かす活動を、サービス・ラーニング活動といいます。サービス・ラーニング活動を通して、学生の皆さんは学んだことを実践し、他者とともに生きる市民社会の一員として成長する機会を地域社会からいただいているのです。

本学のカリキュラムの内容や目的をどうぞよく理解したうえで、バランスよく科目を履修し、ボランティア活動やさまざまな課外活動にも積極的に参加しながら、将来必要となる英語力や社会力をどうぞ養ってください。

科目履修やプログラム、ボランティア活動などについてわからないこともあるでしょう。アドバイザーとよく相談して、長期的な視野にたった履修計画を立てましょう。

2. 授業科目の構成

授業科目の内容は以下のように構成されています。

- (1) 英語科目
 - └── 必修科目
 - └── 選択必修科目
- (2) 教養科目
 - └── 必修科目 (人間学)
 - └── 選択科目
- (3) 基礎科目
 - ── 選択科目
- (4) 専門科目
 - └── 必修科目 (プレ・ゼミナール, ゼミナール) (基礎ゼミナールー2010年次生より)
 - └── 選択科目

必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目

選択必修科目 …… 指定された科目の中から選択して、所定の単位を必ず履修しなければならない科目

選択科目 …… 自由に選択して履修できる科目

3. 卒業に必要な科目・最低単位数

2年の修業年限を満たし、次の条件を満たすことにより、本学を卒業する資格が与えられます。

(1年次で30単位以上修得できない場合は、卒業見込証明書が発行されない場合があります。)

【09年次生】

分野	英語科目		教養科目		基礎/専門科目		合計
	必修	選択必修	必修	選択	必修	選択	
単位数	8	6	4	12	6	30	66
合計	14		16		36		

【10年次生以降】

分野	英語科目		教養科目		基礎/専門科目		合計
	必修	選択必修	必修	選択	必修	選択	
単位数	8	6	4	12	8	28	66
合計	14		16		36		

4. 標準配当表

【09年次生】

区分		1年次・春学期 第1 Semester (準備期)		1年次・秋学期 第2 Semester (発展期)		2年次・春学期 第3 Semester (応用期)		2年次・秋学期 第4 Semester (完成期)	
英語科目	必修 (8単位)	英語 I	2	英語 II	2	英語 III	2	英語 IV	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (4単位)	人間学 I	2	人間学 II	2				
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎/専門科目	必修 (6単位)			プレ・ゼミナール	2	ゼミナール I	2	ゼミナール II	2
	選択 (30単位)	選択科目 (30)							

【10年次生以降】

区分		1年次・春学期 第1セメスター (準備期)		1年次・秋学期 第2セメスター (発展期)		2年次・春学期 第3セメスター (応用期)		2年次・秋学期 第4セメスター (完成期)	
英語科目	必修 (8単位)	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (4単位)	人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2				
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎／ 専門科目	必修 (8単位)	基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
	選択 (28単位)	選択科目 (28)							

5. 履修上の注意

(1) 履修登録の上限

履修できる単位数の上限は1学期につき**24単位**です。

(2) 同一科目の重複履修

同一の授業科目は重複して履修することはできません。担当者が異なっても同じ科目名であれば、同一科目とみなされます。ただし、履修した科目が不合格で単位が修得できなかった場合は、もう一度履修することができます。

(例)「基礎英語スキルズ (リーディング)」の授業は春学期と秋学期で違う担当者 → 同じ科目名なので同一科目 → 春学期に単位が修得できた場合、秋学期は履修できない。

- 下記の科目は科目名が異なりますが、同一科目とみなされます。すでに単位を修得済みの場合、重複履修はできませんので注意すること。

【10年次生以前】

2010年度以前開講科目名	2011年度開講科目名
情報概論	情報リテラシー演習
世界の教育	比較・国際教育学

【09年次生】

2009年度以前開講科目名	2010年度以降開講科目名
映画に見る文化	ビジュアル・レトリック
基礎英語スキルズ (文法)	基礎英語スキルズ (文法・語彙)
基礎英語スキルズ (語彙)	基礎英語スキルズ (文法・語彙)

(3) 受講者数制限科目

人数制限のある科目 (P. 59～P. 64の開講科目表の**備考欄に【人】**とある科目) は履修登録前に仮登録を行い、受講希望者多数の場合抽選を行います (詳細は「履修登録の手引き」を参照のこと)。その他の科目についても原則的には人数制限しませんが、初回の授業の受講希望状況によっては制限を行う場合もあります。第1～2回目の授業、その他掲示等に注意してください。

(4) 必修科目のクラス指定、ゼミ

必修科目は指定されたクラスを履修してください。1年次秋学期必修のプレ・ゼミナールとともに、2年次必修のゼミの選択・登録については1年次中に始まりますので掲示等に注意してください。

- (5) 英語スキルズ科目
原則として各学期に1科目までとします。
- (6) 教養科目の「体育理論・実技」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。ただし、同一科目の重複履修はできません。(例)春学期に「体育理論・実技2」の単位を修得済み→秋学期の「体育理論・実技2」は履修できません(体育理論・実技1か3は履修可能)。
- (7) 基礎科目の「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。
- (8) 他の科目の履修が前提となる科目
児童英語教育演習A, 児童英語教育演習B……履修するには, 児童英語教育概論(2011年度まで開講), 児童英語教育概説, 児童英語指導者養成講座, 第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが必要です。
日本語教育演習……履修するには, 日本語教育概論の単位を修得済であることが必要です。
- (9) 履修希望者が極めて少数の場合, 開講を中止することもあります。

6. 基礎科目／専門科目のコース制度

専門科目は「異文化理解」「英米文学研究」「言語研究」「言語教育(09年次生以降)」の4つの領域に分類されています。ある領域を集中してコースとして学ぶことも可能ですし, それぞれの領域から自由に科目を選択して履修することも可能です。

それぞれのコースの**基礎科目**(異文化理解:キリスト教文化入門又は異文化間コミュニケーション, 英米文学研究:英文学概論, 言語研究:言語学概論, 言語教育:児童英語教育概説又は日本語教育概論) 4単位 + そのコースの**関連科目**を 16単位以上, 合計20単位以上 修得した場合は, 申請に基づき「コース修了証」を発行し, 修了コース名を成績証明書に記載します。希望者は, 2年次の秋学期の履修登録時に申請を行います(所定用紙)。

(注)【P.61~P.64の開講科目表を参考】

2つのコースどちらにでも算入できる科目は, 1つのコース分にしか数えられません。2つのコースどちらにでも算入できる科目を, 1回しか数えなくても2コース分の修了証が申請可能な場合は, 申請書を2枚提出してください。

<各コースの概要>

異文化理解コース	英米文学研究コース	言語研究コース	言語教育コース
さまざまな国の文化や社会, 歴史, 考え方などについて学びます。	英語圏の文学を通してさまざまな表現手法や思想について学びます。	ことばの仕組みや使い方, バリエーションなどについて学びます。	子供たちへの英語の教え方や外国籍の方への日本語の教え方を, 理論と実践の両面から学びます。

*次ページに各年次生の各セメスターでの履修例を示します。あくまでも一例ですので, 自己の目的や興味関心に従って個人の学習計画を立ててください。なお, 開講学期や時間割は年度によってかわります。

* 履修例はあくまでも一例であり、毎年の実際の開講学期・時間割は反映されていません。

【09年次生】

＜異文化理解コース（例）＞

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	文化人類学	4
経済学	4	英語スキルズ	2	東洋研究A	4	比較政治制度論	4
マスメディア論	4	情報リテラシー演習	4	国際関係論	4	社会正義のグローバルリテラシー	4
キリスト教文化入門	4	異文化間コミュニケーション	4	ビジュアル・レトリック	4		
		ヨーロッパ現代史	4				
合計 18 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

＜英米文学研究コース（例）＞

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	英語史	4
教育学	4	英語スキルズ	2	体育理論実技3	2	西洋研究	4
体育理論実技2	2	社会学	4	フランス語Ⅱ	2	ヨーロッパ現代史	4
英文学概論	4	フランス語Ⅰ	2	小説研究	4		
		演劇研究	4	映画と文学	4		
		アメリカ文学史	4				
合計 16 単位		合計 22 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 8		教養 6		教養 2		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 12		基礎/専門 12			

2年間 計72単位

＜言語研究コース（例）＞

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	第二言語習得	4
社会学	4	英語スキルズ	2	音声学	4	英語史	4
心理学	4	法学	4	異文化間コミュニケーション	4	社会言語学	4
ドイツ語Ⅰ	2	言語学概論	4	日本語学	4		
		言語とリテラシー教育	4				
合計 16 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 10					

2年間 計70単位

＜言語教育コース（例）＞

1年次・春学期 第1 Semester		1年次・秋学期 第2 Semester		2年次・春学期 第3 Semester		2年次・秋学期 第4 Semester	
人間学Ⅰ	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
英語Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語スキルズ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	児童心理学	4
心理学	4	英語スキルズ	2	児童英語教育演習A	4	第二言語習得	4
歴史学	4	音楽	4	比較・国際教育学	4	児童英語教育演習B	4
日本語表現法	4	児童英語教育概説	4	音声学	4		
		キャリアプランニング	4				
合計 18 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

カリキュラムについて

* 履修例はあくまでも一例であり、毎年の実際の開講学期・時間割は反映されていません。

【10年次生以降】

＜異文化理解コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	東洋研究B	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	国際関係論	4	文化人類学	4
経済学	4	情報リテラシー演習	4	ビジュアル・レトリック	4	比較政治制度論	4
異文化間コミュニケーション	4	マスメディア論	4	言語とリテラシー教育	4		
		ヨーロッパ現代史	4				
合計 16 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 6		教養 10		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 6		基礎/専門 6					

2年間 計70単位

＜英米文学研究コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	英語史	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	体育理論実技3	2	西洋研究	4
教育学	4	フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2	翻訳演習	4
体育理論実技2	2	演劇研究	4	小説研究	4		
歴史学	4	英文学概論	4	映画と文学	4		
合計 18 単位		合計 18 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 12		教養 2		教養 2		基礎/専門 14	
基礎/専門 2		基礎/専門 12		基礎/専門 12			

2年間 計70単位

＜言語研究コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	音声学	4	英語史	4
社会学	4	法学	4	異文化間コミュニケーション	4	社会言語学	4
心理学	4	言語学概論	4	日本語学	4		
ドイツ語Ⅰ	2	バイリンガル教育	4				
合計 18 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 10		教養 6		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 4		基礎/専門 10					

2年間 計72単位

＜言語教育コース（例）＞

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミⅠ	2	ゼミⅡ	2
人間学Ⅰ	2	人間学Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語スキルズ	2	児童心理学	4
英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	児童英語教育演習A	4	第二言語習得	4
歴史学	4	音楽	4	日本語教育演習	4	児童英語教育演習B	4
日本語表現法	4	児童英語教育概説	4	音声学	4		
		法学	4				
合計 16 単位		合計 20 単位		合計 18 単位		合計 16 単位	
英語 4		英語 4		英語 4		英語 2	
教養 6		教養 10		基礎/専門 14		基礎/専門 14	
基礎/専門 6		基礎/専門 6					

2年間 計70単位

7. サービスラーニングとカリキュラムとの関連

学科の中には言語教育コースが設置され、その中に日本語教育と児童英語教育の科目群が置かれています。外国籍市民を対象とした日本語・教科支援ボランティアに参加する学生のために、「日本語学」、「日本語教育概論」、「日本語教育演習」などの授業が用意され、また英語教育ボランティアに参加する学生のためには、「児童英語教育概説」、「児童英語教育演習A」、「児童英語教育演習B」、「第二言語習得」、「児童英語指導者養成講座」などの授業が用意されています。これらの科目を履修することで、理論と実践の上で学問的な裏付けを持って、地域社会における教育支援活動に臨むことが可能です。本学の時間割にはこれら活動を支援するため、サービスラーニング枠が設けられており、その時間を活用して学生は地域社会でのサービスラーニング活動を行うことが奨励されています。

「小学校英語指導者資格」の取得を目指す学生は「児童英語指導者養成講座」の授業の履修に加え、通信講座とワークショップを受講することで、小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）による「小学校英語準認定指導者資格」の取得が可能です。さらに、「児童英語教育演習A」、「児童英語教育演習B」などの授業とサービスラーニング枠を活用し、実際の指導経験を積むことで「小学校英語指導者資格」の取得申請へも繋がります。

「小学校英語準認定指導者資格」「小学校英語指導者資格」を取得するには

1. 児童英語指導者養成講座」を履修、単位を修得する。
併せて通信講座アルク児童英語教師養成コースを受講。（受講料：63,000円（税込）上智大学短期大学部特別価格 2011年9月時点）期限内に課題を提出・成績基準をクリアして修了する。
2. J-SHINE またはアルク主催の「小学校英語指導者資格取得研修講座」に参加する。
（2日間集中、受講料：36,000円（税込）2011年9月時点）
3. J-SHINEの資格認定の申請を行い、「小学校英語準認定指導者資格」取得。
4. 本学サービスラーニング活動等への参加により、幼児および小学生を対象とした50時間の指導経験がある場合、「小学校英語指導者資格」の取得申請が可能。

なお、次ページ以降の9. 開講科目表の「サービスラーニング関連度」項目欄には、これらコース内のサービスラーニング関連科目と、コース外でもサービスラーニングに関連する内容を授業の一部に取り入れている科目には、その度合いによってA（非常に関連）、B（ある程度関連）、C（少々関連）を表示していますので、履修の参考にしてください。

8. インデペンデント・スタディ

既設の科目で扱われている内容をより深く理解するため、あるいは現在開講されていない科目のテーマについて自ら学ぶため、学生が主体的に指導教員のもとで研究し、研究報告書として成果をまとめ、評価を受けることにより、専門科目として2単位を付与する制度です。

登録を希望する学生は自分の研究テーマに相応しい指導教員（専任教員に限る）を選び、登録前に承諾を受けます。登録は在学中に1回限りとします。研究テーマについては、登録する学期の前の学期中に教員と相談することが望まれます。なお、各学期につき一人の教員が指導する学生は原則2名以内です。

<登録までの手続>

- ① 登録を希望する学期までに研究テーマを決め、指導教員を決定します。
- ② 「研究計画書」を作成し、指導教員へ提出します。指導教員は教務委員長、学科長とともにその計画書を審査します。
*研究テーマは指導教員と相談の上決定します。
- ③ 指導教員と教務委員長及び学科長の許可を受けた上で、春学期あるいは秋学期の履修登録期間に登録を行います。

<履修～評価>

- ① 学生は登録した学期の期間中，定期的に担当教員に対し進捗状況を報告し，指導をうけてください。
- ② 学生は登録した学期末までに「研究報告書」を担当教員に提出してください。最終的な研究報告書は十分な研究調査に基づいた論文の体裁をとっている必要があります。各学期末（秋学期登録者は1月，春学期登録者は7月）に開催される「公開研究発表会」で研究成果を教員・学生の前でプレゼンテーションした上，評価を受けます。
- ③ 履修を中止する場合は，登録した学期の履修中止期間に行ってください。

9. 開講科目表

英語科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1,2限連続		関連度 ※ サービスマーケティング	※A 非常に, B ある程度, C 少々		
	必修	選必	選択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考
英語 I	2			◎			1年次	M. Andrade, 平野, 飯田, 永野, 神谷, C. Oliver, 狩野 岩崎, T. Varkey	クラス指定
英語 II	2				◎		1年次	M. Andrade, 平野, 近藤, 永野, 神谷, T. Gould, C. Oliver, 狩野, T. Varkey	クラス指定
英語 III	2			◎			2年次	T. Varkey, R. Burton, J. Dizon, G. Fredes, 深澤, J. Hirai, 國分, M. Nepomuceno, S. Tandon, K. Williams	クラス指定
英語 IV	2				◎		2年次	斐, R. Burton, J. Dizon, G. Fredes, 深澤, J. Hirai, 國分, M. Nepomuceno, S. Tandon, K. Williams	クラス指定
基礎英語スキルズ (生活の英語)		2			◎		1・2年次	M. Nepomuceno	[人]35名
基礎英語スキルズ (ライティング)		2		◎			1・2年次	石原	[人]35名
基礎英語スキルズ (リーディング)		2		◎	◎		1・2年次	(春)秋庭 (秋)石原	[人]各60名
基礎英語スキルズ (文法・語彙)		2		◎			1・2年次	石原	[人]60名
標準英語スキルズ (生活の英語)		2			◎		1・2年次	S. Tandon	[人]35名
標準英語スキルズ (旅行の英語)		2			◎		1・2年次	服部	[人]35名
標準英語スキルズ (職場の英語)		2		◎	◎		1・2年次	(春)K. Williams (秋)J. Hirai	[人]各35名
標準英語スキルズ (メディアの英語)		2		◎			1・2年次	J. Hirai	[人]60名
標準英語スキルズ (文法・語彙)		2		◎	◎		1・2年次	服部	[人]各60名
標準英語スキルズ (ライティング)		2		◎	◎		1・2年次	J. Dizon	[人]各35名
標準英語スキルズ (リーディング)		2		◎	◎		1・2年次	(春)服部, 國分 (秋)石原	[人]各60名
標準英語スキルズ (パブリックスピーキング)		2		◎			1・2年次	S. Howell	[人]35名
標準英語スキルズ (ディスカッション)		2			◎		1・2年次	R. Burton	[人]35名
標準英語スキルズ (アカデミックリスニング)		2		◎			1・2年次	G. Fredes	[人]60名
標準英語スキルズ (TOEIC対策)		2		◎	◎		1・2年次	(春)斐 (秋)秋庭	[人]各60名
上級英語スキルズ (職場の英語)		2		◎			1・2年次	斐	[人]35名
上級英語スキルズ (ライティング)		2		◎			1・2年次	M. Nepomuceno	[人]35名
上級英語スキルズ (ディベート)		2			◎		1・2年次	S. Howell	[人]35名
上級英語スキルズ (学術論文作法)		2			◎		1・2年次	S. Howell	[人]35名
上級英語スキルズ (多読速読)		2		◎			1・2年次	高橋	[人]60名
上級英語スキルズ (編入対策)		2		◎			1・2年次	平野	[人]60名
(社会正義のグローバルリテラシー)		4			◎	B	1・2年次	M. Andrade	注1

注1 技能審査で一定のレベルをクリアした場合のみ、英語科目選択必修として履修可 P.47参照

教養科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2 ○=週1 ●=週1,2限連続		サービ スライ ニング ※ 関連度	※A 非常に, B ある程度, C 少々		
	必修	選 必	選 択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考
人間学Ⅰ	2			○		A	1年次	丹木, 岩崎, 小林, 阿部, W. Nampet, 田村	クラス指定
人間学Ⅱ	2				○	A	1年次	丹木, 岩崎, 小林 阿部, W. Nampet, 田村	クラス指定
歴史学			4	◎			1・2 年次	森下	
哲学			4	◎	◎		1・2 年次	丹木	
女性と哲学			4		◎	B	1・2 年次	田内	
宗教学			4	◎	◎	B	1・2 年次	小林	
音楽			4		◎		1・2 年次	北村	
女性学			4					2012年度休講	
社会学			4	◎	◎		1・2 年次	鈴木	
日本国憲法			4	◎		A	1・2 年次	高野	
法学			4		◎		1・2 年次	高野	
教育学			4	◎	◎	B	1・2 年次	神門	
政治学			4					2012年度休講	
経済学			4	◎	◎		1・2 年次	白瀬	
社会福祉入門			4		◎		1・2 年次	森澤	
マスメディア論			4	◎	◎		1・2 年次	(春)国枝 (秋)石川	
情報リテラシー演習			4		◎		1・2 年次	加藤	
自然科学入門			4					2012年度休講	
数学			4	◎			1・2 年次	加藤	
心理学			4	◎		B	1・2 年次	林	
体育理論・実技1			2	○	○		1・2 年次	木皿	[人]各36名
体育理論・実技2			2	○	○		1・2 年次	小澤	[人]各36名
体育理論・実技3			2	○	○		1・2 年次	小澤	[人]各36名

基礎科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2回 ●=週1回		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に, B ある程度, C 少々			
	必修	選択	選択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考	
異文化理解コース関連科目 (基礎科目)						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい				
キリスト教文化入門			4		◎	B	1・2 年次	輪講(コーディネーター:小林)		
異文化間コミュニケーション			4	◎		C	1・2 年次	C.Oliver	*言語研究コースにも算入可	
英米文学研究コース関連科目 (基礎科目)						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい				
英文学概論			4	◎	◎		1・2 年次	(春)飯田 (秋)平野		
言語研究コース関連科目 (基礎科目)						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい				
言語学概論			4	◎	◎	C	1・2 年次	(春)神谷 (秋)近藤		
言語教育コース関連科目 (基礎科目)						各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい				
児童英語教育概説			4	◎		A	1・2 年次	狩野		
日本語教育概論			4		◎	A	1・2 年次	樋口		
ドイツ語 I			2	◎	◎		1・2 年次	工藤	[人]各35名	
ドイツ語 II			2	◎			1・2 年次	工藤	[人]35名, ドイツ語 I 既習者か, それに相当する者	
フランス語 I			2	◎	◎	C	1・2 年次	横田	[人]各35名	
フランス語 II			2	◎		C	1・2 年次	横田	[人]35名, フランス語 I 既習者か, それに相当する者	
スペイン語 I			2	◎	◎		1・2 年次	A. Yáñez	[人]各35名	
スペイン語 II			2	◎			1・2 年次	A. Yáñez	[人]35名, スペイン語 I 既習者か, それに相当する者	
中国語 I			2	◎	◎		1・2 年次	廣重	[人]各35名	
中国語 II			2	◎			1・2 年次	廣重	[人]35名, 中国語 I 既習者か, それに相当する者	
日本語表現法			4	◎	◎	C	1・2 年次	(春)樋口 (秋)河北	[人]各35名	
キャリア・プランニング			4		◎		1・2 年次	輪講(コーディネーター:岩崎)	同窓会寄附講座	
留学準備			2	◎			1・2 年次	神谷	夏の短期語学講座申込者のみ	
留学準備			2		◎		1・2 年次	飯田	春の短期語学講座申込者, 他	

カリキュラムについて

専門科目

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2回 ●=週1回		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に, B ある程度, C 少々		
	必修	選択	選択	春 学期	秋 学期		履修 年次	担当者	備考
基礎ゼミナール	2			○			1年次	丹木, 近藤, 飯田, 森下, 宮崎, 岩崎, 小林	
プレ・ゼミナール	2				○	近藤 B 狩野 A	1年次	高野, M. Andrade, 平野, 丹木, 近藤, 飯田, 森下, 永野, 神谷, T. Gould, 杉村, 狩野, 岩崎, 小林, T. Varkey	原則として2年次にゼミⅠ・Ⅱ担当教員と同一教員を履修。但し、教員のサバティカルにより同一教員が履修できない場合がある。詳細は6月のゼミナール説明会で説明。
ゼミナールⅠ	2			○		近藤 B 狩野 A	2年次	高野, M. Andrade, 平野, 近藤, 飯田, 森下, 永野, 神谷, C. Oliver, 杉村(ゼミⅡ), 狩野, 岩崎, 小林, 神門(ゼミⅠ)	ゼミⅠとゼミⅡは同一教員を履修(春学期に神門ゼミ(ゼミⅠ)を履修した場合は、秋学期に杉村ゼミ(ゼミⅡ)を履修する)
ゼミナールⅡ	2			○					
異文化理解コース関連科目									
東洋研究A			4	◎			1・2年次	田畑	
東洋研究B			4		◎		1・2年次	田畑	
西洋研究			4		◎		1・2年次	森下	【隔年開講】
日本文化			4		◎		1・2年次	森下	
英米史			4					2012年度休講	【隔年開講】
ヨーロッパ社会史			4	◎			1・2年次	鍋谷	
ヨーロッパ現代史			4		◎		1・2年次	鍋谷	
比較社会史			4	◎			1・2年次	森下	
国際関係論			4	◎		A	1・2年次	高野	
文化人類学			4		◎	C	1・2年次	C. Oliver	
現代美術			4		◎		1・2年次	G. Fredes	
ビジュアル・レトリック			4		◎		1・2年次	K. Williams	
比較・国際教育学			4		◎	B	1・2年次	杉村	*言語教育・児童英語教育コースにも算入可
社会正義のグローバルリテラシー			4		◎		1・2年次	M. Andrade	【隔年開講】 注2
言語とリテラシー教育			4			B		2012年度休講	*言語研究コースにも算入可 【隔年開講】
個人と人権			4					2012年度休講	【隔年開講】
比較政治制度論			4		◎		1・2年次	高野	【隔年開講】

注2 専門科目4単位として算入する方法と英語選択必修科目4単位として算入する方法があります P.47参照

専門科目（続き）

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2回 ●=週1回		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に, B ある程度, C 少々		
	必 修	選 必	選 択	春 学 期	秋 学 期		履 修 年 次	担 当 者	備 考
英米文学研究コース関連科目									
英語英米文学入門			4					2012年度休講	
アメリカ短編小説研究			4					2012年度休講	
英詩研究			4					2012年度休講	
演劇研究			4		◎		1・2 年次	飯田	
小説研究			4		◎		1・2 年次	永野	
アメリカ文学史			4					2012年度休講	【隔年開講】
映画と文学			4	◎			1・2 年次	平野	【隔年開講】
翻訳演習			4	◎			1・2 年次	永野	
(英語史)			4		◎		1・2 年次	永野	
言語研究コース関連科目									
社会言語学			4		◎	C	1・2 年次	神谷	
音声学			4	◎			1・2 年次	高橋	*言語教育・児童英語教育コースにも算入可
日本語学			4	◎		B	1・2 年次	宮崎	*言語教育コースにも算入可
語用論			4			C		2012年度休講	【隔年開講】
英語史			4		◎		1・2 年次	永野	*英米文学研究コースにも算入可
通訳演習			4	◎			1・2 年次	近藤	【隔年開講】
(異文化間コミュニケーション)			4	◎		C	1・2 年次	C.Oliver	
(言語とリテラシー教育)			4			B		2012年度休講	【隔年開講】
(バイリンガル教育)			4			A		2012年度休講	
(第二言語習得)			4		◎	B	1・2 年次	T.Gould	
言語教育コース関連科目									
バイリンガル教育			4			A		2012年度休講	*言語研究コースにも算入可
初等教育			4	◎		A	1・2 年次	神門	
児童心理学			4		◎	B	1・2 年次	林	
第二言語習得			4		◎	B	1・2 年次	T.Gould	*言語研究コースにも算入可
児童英語教育演習A			4	◎		A	2年 次	狩野	*児童英語教育概論(2011年度まで開講)、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位習得済が履修の条件

専門科目（続き）

授業科目名	単位			開講期・授業回数 ◎=週2回 ●=週1回		サ ー ビ ス ラ イ ン グ 関 連 度 ※	※A 非常に, B ある程度, C 少々		
	必 修	選 必	選 択	春 学 期	秋 学 期		履 修 年 次	担 当 者	備 考
児童英語教育演習B			4		◎	A	1・2 年次	狩野	*児童英語教育概論（2011年度まで開講）、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位習得済が履修の条件
児童英語指導者養成講座			4		◎	A	1・2 年次	岩崎	
日本語教育演習			4	◎		A	2年 次	宮崎	日本語教育概論の単位修得済が履修の条件。
（比較・国際教育学）			4		◎	B	1・2 年次	杉村	
（音声学）			4	◎			1・2 年次	高橋	
（日本語学）			4	◎		B	1・2 年次	宮崎	
インデペンデント・スタディ			2				1・2 年次	担当教員	詳細はP.57参照
海外短期語学講座			2				1・2 年次	短期留学制度	詳細はP.46参照